



北海道  
研究会  
会報

## 第 146 号

発行所：北海道道德教育研究会

事務局：〒001-0034

札幌市北区北 34 条西 7 丁目 3-2

札幌市立和光小学校

TEL 011-736-7351 FAX 011-736-7353

発行人：加藤 一郎

編集人：松井 毅

# 全国大会北海道釧路大会からのスタート



第 51 回全国小学校道德教育研究大会北海道釧路大会

第 49 回全日本中学校道德教育研究大会北海道釧路大会

第 50 回北海道道德教育研究大会北海道釧路大会

大会長 加藤 一郎

(札幌市立澄川中学校長)

美しい夕焼けに染まる幣舞橋も見られた釧路市で、第 50 回北海道道德教育研究大会、第 51 回全国小学校道德教育研究大会、第 49 回全日本中学校道德教育研究大会を開催し、850 名を超える全国からの参加者を得て、実り多き大会となりましたことを、心より感謝申し上げます。また、本研究大会の開催に当たり、ご支援とご協力をいただきました全ての教育関係機関及び小中学校の校長先生と教職員の皆様、釧路市立釧路小学校吉川校長先生、釧路市立幣舞中学校梅本校長先生をはじめ、会場校の教職員の皆様、子どもたちと日常の温かな触れ合いを公開授業で見せていただいた先生と生徒の諸君、並びに準備や運営にあたっていただいた釧路管内道德教育研究会と大会実行委員会の皆様、全国の関係団体の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。さて、平成 27 年度は、「特別の教科 道德」の教科化へ向けた動きがスタートした年です。その第一歩を北海道道德教育研究会の会員の皆様と共に踏み出し、全国に発信できたことに、北海道研 50 年の歩みの重さと誇りを感じております。

本大会では、一部改定された学習指導要領に移行しながら実践を積み重ね始めている地域や学校と、まだまだ動いていない地域と学校の格差がより見えてきました。北海道の道德教育と道德の授業についても、しっかりと改善を図り、28 年度には求められてくるであろう様々な実践に対応し、取り組まなければなりません。そのためには、道德の時間 35 時間の確実な実施、道德的な課題について児童・生徒と共に考え合う授業ができる教師になっていることが、教科化に対応して行くための必須条件です。全国大会に参加した皆様は、早急な改善の必要性を強く感じられ、自校や各市町村校の改革を考えておられることと思います。北海道道德教育研究会の会員一同は、本大会での学びを各支部に持ち帰り・伝え・広め、道德教育と道德の授業ができる基盤固めを早急に推進していかなければなりません。

今後進められる道德の教科化に対応しながら、子どもたちの心にしなやかで豊かな道德性をしっかりと育んでいける、より良い研究と実践の積み重ねをこれからも一緒にしてまいりましょう。

# 第50回記念大会を終えて



第51回全国小学校道德教育研究大会北海道釧路大会  
 第49回全日本中学校道德教育研究大会北海道釧路大会  
 第50回北海道道德教育研究大会北海道釧路大会  
 大会運営委員長 **大場 和典**  
 (釧路市立景雲中学校長)

「釧路湿原」「阿寒」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた釧路市において、第50回北海道道德教育研究大会が開催されました。本大会は、全国小学校並びに全日本中学校道德研究大会同時開催となり、参加者が850名を大きく超えました。この紙面をお借りしまして、北海道研や各支部、関係機関の皆様のご指導とご支援に心より感謝申し上げます。

本大会は、研究主題「しなやかな心をもつ児童・生徒の育成」を受け、質の高い「道德の時間」をめざし、副主題を、「心が響き合う『道德の時間』の指導過程の創造」と設定しました。授業は、釧路小学校・幣舞中学校を会場に小中あわせて18クラスを公開し、課題別分科会では全国から18の提言をいただきました。学年別授業分科会、課題別分科会におきましては、どの会場も活発な意見交流が行われ、たくさんの成果が上がったものと確信しております。また、文部科学省初等中等教育局教科調査官 澤田浩一先生から指導講話をいただき、「特別の教科 道德」についての特質について学ぶことができました。

結びになりますが、本研究大会が北海道研の皆様のお陰をもちまして、実り多い大会で終了できたことに感謝申し上げます、御挨拶といたします。

## 第50回釧路大会～授業者から

小学校1年授業者 山本大輔  
 (釧路市立釧路小学校)

今回は、内容項目2-(3)、主題名「ともだちとなかよく」を公開しました。『およげないりすさん』という資料を通して、子どもたちが、自分のことだけでなく友だちのことも考え、仲良くすることのよさを感じとることのできる授業を目指しました。

授業では、役割演技を取り入れることによって、子どもたちがそれぞれの立場に立って、深く考えられる展開にしたかったのですが、自分の考えを言葉で上手に表現できなかった子もいて、役割演技の取り入れ方や、学級の雰囲気づくり等で課題が見つかりました。

最後に、多くの先生方にご指導、ご助言をいただき、心より感謝申し上げます。



# 第50回釧路大会～授業者から



小学校6年授業者 池 理砂

(釧路市立中央小学校)

この度は全国大会での授業公開という大変貴重な経験をさせて戴き、誠にありがとうございました。今回は第6学年、内容項目が自然愛護ということで、自分にとって大きなチャレンジとなりました。知床のヒグマの問題について考えることを契機とし、「自分たちがどのように自然や動植物と共存・共生していったらよいか」ということをテーマに行いました。授業までの2年間、自然と自分たちとの関わりについて考える機会を持ってきました。当日は思うように深まらなかったのが反省も多いのですが、この貴重な経験から多くのことを子どもと共に学ばせて頂きました。

中学校3年授業者 岩 渕 哲

(釧路市立景雲中学校)

内容項目 3-(3)よりよく生きる喜び、「二人の弟子」で授業公開しました。一つの資料、授業と向き合う過程で、「道徳とは何か、生きるとは何か、生徒と向き合うとは何か」など多くの事を考え、その分本当に多くの事を学ばせて頂きました。道信のように逃げ出したい時もありましたが、授業が終わった後には「感謝の涙」が自然と溢れてきました。このような機会を頂戴したことを心より感謝しております。授業づくりから始まり、当日の分科会まで、数え切れないほどの多くの方々にお力添えをいただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。





# 第50回釧路大会～課題別分科会提案から



## 第7分科会提案者 小酒井 晃子 (旭川市立近文第一小学校)

今回の提言では、道德教育と他の教育活動との関連について、道德教育全体計画別様をもとにした実践をご紹介しながら発表させていただきました。この発表を通し、全教育活動を通した道德教育と道德の時間を年間計画の中にきちんと位置付けた教育活動を行うことで、児童が本来持っている道德性や優しさ、思いやりや自己肯定感などを引き出し、さらに伸ばすことができると実感いたしました。

分科会では、温かい感想やご助言をいただきました。また、中学校での実践もお聞きすることができ、大変勉強になりました。このような貴重な機会をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。



## 第5分科会提案者 阿部 晋也 (札幌市立太平中学校)

今回の提言では、共感的理解に基づいた道德の時間の指導と評価の工夫について、本校の実践を発表させていただきました。

発問と話し合い活動を研究の柱とした指導実践と、「2008年道德育の視座」の中で横山利弘先生が示された4つの視点を活用した道德の時間における評価について述べさせていただきました。

分科会では温かいご意見やご感想、ご助言をいただき、多くのことを学ばせていただきました。今後も、より良い評価活動に向けて実践研究を続けていきたいと思っております。



## 第9分科会提案者 和泉 伸也 (浦河町立浦河東部小学校)

今回の提言では、『手綱でつなぐ学校・家庭・地域の連携』と題し、乗馬学習を中心に紹介させていただきました。提言に際し、本校の体験活動を見直す中で、改めて家庭・地域ぐるみの活動(連携)の多さを感じました。

分科会では、全国の方々から多くのご意見やご感想、ご助言とともに、地域性に富んだ実践事例をお聞きすることができ、有意義な時間となりました。今後は、家庭・地域への道德教育の発信と共通理解を学校ぐるみで進めていきたいと思っております。

このような貴重な機会を与えてくださったことに心より感謝申し上げます。

# 釧路大会講演～「特別の教科 道德」



**講師:文部科学省初等中等教育局教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 澤田浩一氏**  
**演題『特別の教科 道德』の特質について**

文部科学省初等中等教育局教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官・澤田浩一氏の講演で挙げられたものを紹介する。

～着眼すべき点～

- \* 「特別の教科 道德」は、「21世紀型能力」(道具や身体を使う基礎力・深く考える思考力・未来を創る実践力の三層構造)の考えが示されたのを受け、資質・能力の育成を目指す教育へという流れの中に位置づけられる。

～変えていくべき視点～

- \* アクティブラーニングの導入が求められている。児童生徒の道徳的諸価値についての理解の実態とねらいとする道徳的諸価値の意味を踏まえ、道徳的諸価値に関わる事象における道徳上の問題について、自分なりの解を求めて深く考えることができる授業への転換を図らなければならない。
- \* 教科書給付による多様な教材の開発、内容項目や教材の特質を踏まえた指導方法の創意工夫が期待される。

～引き継いでいきたいこと～

- \* 「特別の教科 道德」は、学校の教育活動全体を通じて行われる道徳教育の要であることを忘れてはならない。特定の価値観の押し付けではなく、多様な価値観に誠実に向き合い、道徳しての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である。

## 大会スタッフ



第 51 回全国小学校道徳教育研究大会北海道釧路大会  
第 49 回全日本中学校道徳教育研究大会北海道釧路大会  
第 50 回北海道道徳教育研究大会北海道釧路大会  
\* 期日:平成27年9月17(木)～18日(金)  
\* 会場:釧路市立釧路小学校 釧路市立幣舞中学校  
釧路市生涯学習センター  
釧路センチュリーキャッスルホテル